



## 子どもや家族が集う「遊び・体験・ものづくり」の祭典 第40回茅野市こどもまつり

5月12日、「第40回茅野市こどもまつり」が茅野市民館とバルビアを会場に開催され、市内外から多くの親子連れが参加しました。

今年は、子育てに関わる市内の24団体が参加し、紙コップロケットなどの工作やニュースポーツなどの体験、大型絵本の読み聞かせ、「CHUKOらんどチノチノ」運営スタッフと利用者の中高生による縁日など、さまざまなブースが設けられました。子どもたちのダンスグループによる発表も行われ、会場は大いに盛り上がりました。



## 野鳥の飛び交う里山を目指して 市民の森 第17回森開き

4月27日、市民の森（吉田山）で「市民の森第17回森開き」が開催されました。

開会式では、テープカットに見立てた白樺の丸太をカットするウッドカットが行われ、森開きが宣言されました。その後、主催する市民の森を創る会のメンバーによる案内で木や植物を観察する散策や、参加者がペンなどで絵を描いた巣箱の設置、どんぐりの植ええなどが行われ、参加者は里山に親しみました。

市民の森は、11月中旬まで開放されています。



## 茅野市内すべての小学1年生に本をプレゼント セカンドブック手渡し会

5月23日、豊平小学校で「セカンドブック手渡し会」が開催され、「読書の森 読りーむ in ちの」のメンバーや地域の方が児童一人ひとりに本やしおりなどを手渡しました。受け取った児童は、保護者の方に読み聞かせてもらうなどして本を楽しみました。

セカンドブックプレゼントは、茅野市内すべての小学1年生に本を送る活動で、今年で20年目になります。ファーストブックプレゼントで乳幼児期に育まれた絵本や読書への楽しみを小学生になっても持ち続け、家庭に読書を根付かせたいという願いから始められた活動です。



## 泥だらけになって田植えを楽しむ 多留姫文学自然の里 田植まつり

5月18日、多留姫文学自然の里の「神田」で「田植まつり」が開催されました。田植まつりは、多留姫文学自然の里創造委員会が主催する年5回の米作り体験の初回です。

当日は、参加した小学生や保育園児などが、裸足で田んぼに入り、昔ながらの手植えによる田植えを体験しました。田んぼに張られた黄色のヒモを目印に、丁寧に苗を植えました。ぬかるむ足元に苦戦しながらも、泥だらけになって楽しく田植えをする様子が見られました。